

平成 27 年度 B 問題に挑戦

小学校第 5 ・ 6 学年

国 語

富山県教育委員会

運動を通して仲よくなるろう

土田、山村、川口、田中

わたしたちの学校では、週に3回、2時間目と3時間目の間に、「わくわく運動」をしている。これは、自分の目標を決め、短きより走や持久走、なわとび運動などに取り組む活動だ。「わくわく運動」は、一人一人が目当てをもって自分の力を高める大切な時間になっているが、その時間に集まった全校のみんなが他の学年の人と交流していない。

A

この「わくわく運動」を、運動が好きになると同時に、みんなが仲よくなる時間とすることで、きずなを深めていけるのではないだろうかと考えたので、次のことを提案する。

B

全校児童が運動を通して交流する時間を^{せってい}設定する。そして、運動のこつを教え合ったり、いろいろなスポーツにいっしょに取り組んだりする。

C

週に3回の「わくわく運動」の内、1回を「なかよし運動」とし、全校のみんなが運動を通して交流する時間としては、どうだろうか。例えば、1年生と6年生、5年生と2年生、3年生と4年生が組になって、走り方やボールの投げ方、なわとびなどのこつを教えるという活動はどうだろうか。また、ミニスポーツ大会を行い、ちがう学年の友達とチームになり、ボールを使ったゲームを楽しむというのはどうだろうか。

D

ア「なかよし運動」が実現すると、いいことがあると思う。
 「もっと運動が大好きになり、全校のみんながさらにきずなを深めるために」という点から、このことを提案する。

土田さんたちは、「みんなとのきずなを深めよう」をテーマに、グループで左のような提案書を作りました。

年
組
番
氏名

土田さんたちは「提案書」を作成するために、まず、「わくわく運動」の問題点についてふせんに書きました。そして集まったふせんを、内容ごとに分けてタイトルを付けました。①②③の三つのふせんは、どこに分けられますか。それぞれについてあいうの記号で書きましょう。

他の学年との交流について

いつも同じ学年の人と活動している。

あ

運動が上手になるとこについて

速く走るこつやなわとびのいろいろな技を伝え合っていない。

い

いろいろな運動へのチャレンジについて

いつもサッカーばかりしている人がいる。

う

①

一年間で一度も持久走に取り組んだことがない人がいる。

②

一人で、努力していても、なかなかうまくならない。

③

ちがう学年の人とつしよにスポーツ大会で楽しむ機会がない。

国語 解答

年 組 番 氏名

一

① 提案の内容
C

② 提案の理由
B

③ 具体的な提案内容
D

二

間
に
な
っ
て
い
る
。
し
か
し
、
そ
の
時
間
に
集
ま

三

① う
② い
③ あ

四

※ ◆の印から書きましょう。とちゅうで、行を変えないで、続けて書きましょう。

	「	な	か	よ	し	運	動	」	
が	実	現	す	る	と	、	◆	い	
つ	も	サ	ッ	カ	一	ば	か		
り	し	て	い	る	人	が	、		
い	ろ	い	ろ	な	運	動	に		
取	り	組	む	よ	う	に	な		
る	。	そ	し	て	、	他	の		
学	年	の	人	と	い	っ	し		
よ	に	活	動	す	る	こ	と		
で	、	み	ん	な	が	楽	し	80字	
く	仲	の	よ	い	学	校	を		
つ	く	っ	て	い	け	る	と		
思	う	。						100字	